



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrs.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 石田 光雄

幹事 / 大井 睦子

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム ロータリー財団担当 動画鑑賞
- 次回例会日時 2020年11月16日 19:00~20:00
- 次回プログラム 夜間例会 会員卓話/職業奉仕委員会担当

■第1312回例会記録

- 日時.....2020年11月2日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介
街一場木工所 代表取締役 寺河未帆様

●2020~21年度 国際ロータリーのアーマ



ロータリーは世界の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン
出会うの扉を開き、新しい仲間と
ロータリーをとことん楽しもう

■開会挨拶.....石田会長

今月はロータリー財団月間です



皆さん こんにちは。ゲストの有限会社一場木工所 寺河美帆様 ようこそお越しくださいました。後ほどご講演よろしくお願ひいたします。

昨今だいぶ 朝冷えてきました。庄原では、先週

土曜日の朝、4度まで冷えまして。この前まで暑い暑いといっていたら、もう冬支度。寒暖の差が激しくなってきました。体調には十分お気をつけ下さい。

先週のパナー公式訪問大変お疲れ様でした。特にクラブフォーラムで発表された杉谷会員、中島清祐会員、女性に頼まれたらイヤと言えない上田会員ありがとうございました。三次中央クラブの会員増強・コロナ対策・30周年事業についてパナーに分かりやすく説明して頂き、理解して頂いたものと思います。

当日の夜は、むらたけ総本家において、パナーを囲む会を三次クラブさんと一緒に行いました。ともに飲食をして感じたことですが、脇パナーは、非常に気さくな方で、話しやすく、一人のロー

タリアンとして同じ立ち位置で話をさせて頂ける方でした。

さて、今月は「ロータリー財団月間」です。さあ、それでは今月の今さら聞けないロータリーのミニ知識の時間です。おさらいをして、確認をしましょう。

まず、ロータリー財団の使命です。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。そのために6つの重点分野があります。1) 平和と紛争予防・解決 2) 疾病予防と治療 3) 水と衛生 4) 母子の健康 5) 基本的教育と識字率向上 6) 経済と地域社会の発展です。

ロータリー財団の世界目標は、4億ドルで、その内訳は、年次基金に1億4000万ドル、ポリオプラス基金に1億5000万ドル、恒久基金に7500万ドル、グローバル補助金等のその他基金が、3500万ドルです。日本の目標は、年次基金が、一人当たり150ドル、ポリオプラスが一人当たり30ドルです。目標は目標ですが、ロータリアンとして、少しでも目標に近づくように頑張らしましょう。

■幹事報告.....大井幹事

●会報訂正です。

クラブフォーラムの中島清祐会員の発表の中で、三次にクラスターが初めて発生したのは、3月8日とありますが、4月8日でした。

●ガバナー月信11月号を配布いたします。重信会員が新会員紹介の欄に載っています。

●本日19時より、第5回理事役員会をグランドホテルにて行います。

■出席報告.....野村委員長

●第1310回 10月19日

会員数	39名	Make-up	0名
欠席	7名	出席合計	32名
欠席者のうち欠席と別録	2名	出席率	86.49%

●Make-up...

●第1312回 本日の出席は40名中33名です。

■ロータリー情報委員会.....信国委員長

ロータリーの友誌11月号の読みどころを紹介いたします。

P.7 グローバル補助金を活用した新たな奉仕活動

P.16 インターアクトについての記事

P.18 アンケート調査より、「どうなった例会」

P.25 感染予防対策

P.35 連載コミック「ポールハリスとロータリー」

P.45 ロータリーの国際大会と台湾の文化

P.47 第2710地区の現状

P.68,69 友愛の広場 ロータリーの掲げる奉仕の精神

以上、是非ともご一読ください。

■SAA.....中西副SAA

●会員ニコニコBOXご出宝

竹野君 昨日、いい日和でした。もみじ祭りの始まりです。(大口)

石田君 一場木工所、寺河様をお迎えして。

松本君 今日から、篠原君、正式入会です。よろしくお願いします。

中島清貴君 ロータリー財団月間です。皆さん、よろしくお願いします。

井上澄子君 絵本を各学校へお届けする事業が完了しました。ホッとしました。

元廣君 寺河様をお迎えして。市内バス「くるるん」命名ありがとうございました。

「ゲスト、寺河様をお迎えして。」

箕田君、杉谷君、沈君、平田君、和田君

ニコニコBOX本日出宝額 13,000円

横井也有「健康十訓」

- 一、 少肉多菜(肉を控えて、野菜を多く)
- 二、 少塩多酢(塩分は少なく、酢を多く)
- 三、 少糖多果(砂糖を控えて、果物を多く)
- 四、 少食多嚼(少ない量をよく噛む)
- 五、 少衣多浴(薄着で風呂に入る)
- 六、 少言多行(文句を言わず、実行する)
- 七、 少欲多施(欲望を控え、人々に尽くす)
- 八、 少憂多眠(くよくよせず、よく眠る)
- 九、 少車多歩(車に乗らず、よく歩く)
- 十、 少憤多笑(怒らず、よく笑う)



横井也有(よこいやゆう)は、江戸時代の武士、国学者、俳人。

出身 尾張国
 生年月日 1702年10月24日
 没年月日 1783年7月15日
 年齢 満80歳没

写真:ウィキペディアより

寄稿:平田博紀会員

■プログラム《ゲスト講演》.....プログラム委員会

講師の紹介を致します。三次市上志和地町で有限会社一場木工を経営されています、寺河未帆様です。寺河様は、林産・森林部門の技術士の資格をお持ちで、資源を有効活用した木工製品の開発に努められています。工房は、大きな窓ガラスに陽だまりに満ち、檜の香に包まれた素敵な空間です。一度訪ねてみてください。

ご縁を頂いたのは、2016年7月31日に十日市町「高平たからの森であそぼう」のイベントに「いちば端材市」で参加され、「すてきなものをつくる自由工作/木工雑貨」のブースは子どもたちの大人気でした。それ以来、酒屋壱の森で毎年6月第一日曜日に開催する「ひろしま山の日 in 三次」会場で、子どもたちに端材や木の枝を利用した木工教室を担当して頂き、自然体験を通じて森林の大切さ、ものづくりの面白さを高めていただいています。

今日は、寺河様の経営理念などを含め、お話ししていただきます。それでは寺河様よろしくお願ひします。
箕田英紀プログラム委員長



▲森のお弁当

異業種から 木の専門家として

一場木工所 代表取締役 寺河 未帆



上志和地で一場木工所を経営している寺河未帆と申します。私は異業種から木の専門家になり現在17年、社長になりまして9年目です。

父の経営していた一場木工に入社する前は一般の会社に勤めていました。が、その会社が閉鎖になり、母が闘病生活に入った事もあり、木の知識も、また家業を継ぐ気もないまま父の経営していた一場木工に就職する事になり、電話応対、事務、会計処理等母からも習うなか、簿記2級も取得しました。かねがね起業し自分の持っているスキルを活かしながら地域の活性化に貢献できればという思いは持っていましたので、起業女性の会「たちあおいの会」に入り、たちあおいマルシェ実行委員長を8年間務めました。そのマルシェで木製品の木工キットが大変な人気で、元々山や自然が好きだった事もあり「多くの方々に本当の木の良さを伝えたい」と思うようになりました。

広島県産ヒノキにより高付加価値の商品開発をと、取り組むうち、地域の木材を活用し、地域の活性化に貢献できないかと考えるようになり、2017年7月に会社を継ぎました。ホンモノをどう伝えるか!広島県のヒノキをどう活かす

か!をコンセプトにしました。

2019年国家資格の森林部門/林産技術士に合格し、広島県森林審査委員にも就任しています。実はくるるんバスの車体のイラストデザインは私がしました。町中で出会うと私の広報車が走ってるなと思い嬉しい気持ちになります。かつてはイラストレーターをやっていたので、その技を活かし「広島県の林業」という本の隔月コラムも担当しています。その時の名前は「さんとうななか」です。



▲くるるんバス 写真提供：安藤会員

森林技術士の資格は、5大国家資格と言われており、超難関ではありましたがAAAの判定で合格。県内では4人しか持っていない資格です。

一場木工所は創業53年。現在女性3名。森と人とを繋ぐコーディネート会社です。森に寄り添い木育をモットーに、木とデザインの融合と高付加価値の創性を計り、木材の良さ、地域性などを活かし、商品群、空間提案、森林関係贈与税等への助言もやっています。

ウッドデザイン賞を5年連続受賞し、弊社のオフィスも平屋の非住宅木造のロールモデルです。建築だけでなく、木の特性を活かしアロマ

や除菌液なども開発しています。「森のおべんと」と名付けた木製のおもちゃは三次市のふる里納税の返礼品としても使われています。

また、MQ戦略ゲームという、2日間で5期分の経営を行うという楽しく経営・会計を学ぶものも作りました。

これからも、中間山地の産業の発展に寄与し、女性が活躍出来る場を創成して行きたいと思っていますと同時に、木の専門家として研鑽を積んで行きたいと思っています。

時間は創るもの！仕事を楽しまたい！と、思っています。



▲一場木工所オフィス



▲こころんプール



▲MQゲーム



石田会長
石田会長

■謝辞
■点鐘

会員ひろい話 vol.10 「本」

読書の秋、秋の夜長に読書。これらの言葉、ひょっとしたらもう化石？今回は新入会員のおふたりへのインタビューと、寄稿です。

■篠原 薫会員

「鬼滅の刃」にはまっています！全22巻全て揃えました。孫へのプレゼントのためです。自分でも順番に読んでます。感想？う～ん???

人生に於いての出会いの本……稲盛和夫氏の「心」だな！

■重信 優会員

私の人生の中で一番影響を受けた本と言えば、15年前ぐらいに読んだ、物理学者エリヤフ・ゴールドラット著のビジネス小説『ザ・ゴール』です。

採算悪化を理由に、突然、本社から工場閉鎖を告げられた主人公が、わずか3か月で起死回生の策を打っていくというストーリーで、その主人公の考え方・行動が新鮮で、当時工場長だった自分には、随分ためになった本でありますし、今の私の考え方の根本になっている本です。

「ザ・ゴール2」「ザ・ゴール3」と続編も出ているので、ぜひお読みいただけたらと思います。

寄稿：重信会員

ザ・ゴール：企業の究極の目的とは何か

